

戦略的 LP 投資案件の回収完了について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、INCJ が出資支援していた 8 件の戦略的 LP 投資案件について、回収を完了したことをお知らせいたします。

1. 戦略的 LP 投資案件について

INCJ は有望なベンチャー企業への資金提供や投資後のハンズオン支援に加え、INCJ と投資哲学が一致し、機能的に補完関係にある中立的な協業パートナーに対する戦略的 LP 投資を行ってまいりました。各ファンドの状況および INCJ の活動期限等も踏まえ様々な協議・検討を行い、本日までに、いずれの案件も INCJ として回収を完了しています。

【回収完了した戦略的 LP 投資案件一覧（順不同）】

ファンド名 (括弧内は投資決定時のプレスリリース URL)	運営	支援決定金額（上限） ／実投資額
EEL スマートエナジー投資事業有限責任組合 (URL)	株式会社環境エネルギー投資	50 億円／50 億円
インキュベイトファンド 3 号投資事業有限責任組合 (URL)	インキュベイトファンド株式会社	50 億円／50 億円
WiL Fund I, L.P. (URL)	WiL GP I, L.P.	100 百万 US ドル ／111.7 億円
けいはんな学研都市 ATR ベンチャー NVCC 投資事業有限責任組合 (URL)	日本ベンチャーキャピタル株式会社	25 億円／25 億円
グローバル・ブレイン 5 号投資事業有限責任組合 (URL)	グローバル・ブレイン株式会社	100 億円／100 億円
テックアクセラ 1 号投資事業有限責任組合 (URL)	合同会社テックアクセラベンチャーズ	35 億円／35 億円
UMI1 号投資事業有限責任組合 (URL)	ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社	60 億円／52.4 億円※
UTEC3 号投資事業有限責任組合 (URL)	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ	100 億円／100 億円

※このほか、運営企業であるユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社に対する 2,000 万円（上限）の支援を決定、譲渡完了済み
(関連プレスリリース：https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_UMI_20220525.pdf)

2. 主務大臣（経済産業大臣）意見

【EEI スマートエナジー投資事業有限責任組合】

本案件は、スマートエナジー領域におけるスタートアップ投資を通じたインキュベーションを創出するベンチャーキャピタルに対する投資である。

本案件を通じて把握されたベンチャーキャピタルへの投資における課題等について、改めて検証し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

【インキュベイトファンド3号投資事業有限責任組合】

本案件は、起業段階からのインキュベーションを通じた日本の次世代産業の創出・育成並びにベンチャーエコシステムの拡大再生産を狙うベンチャーキャピタルに対する投資である。

本案件を通じて把握されたベンチャーキャピタルへの投資における課題等について、改めて検証し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

【WiL Fund I, L.P.】

本案件は、スタートアップと大企業のオープンイノベーションを促進すると共に、日米のスタートアップのプラットフォームを創出することで、リスクマネー供給のみならずグローバルに戦える企業の創出を担うベンチャーキャピタルに対する投資である。

本案件を通じて把握されたベンチャーキャピタルへの投資における課題等について、改めて検証し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

【けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合】

本案件は、脳科学やロボット、無線通信などの分野の技術の社会実装のための事業化支援を行うベンチャーキャピタルに対する投資である。

本案件を通じて把握されたベンチャーキャピタルへの投資における課題等について、改めて検証し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

【UMI1 号投資事業有限責任組合】

本案件は、素材・化学産業における新事業創出の促進、十分なリスクマネー供給と適切な事業推進支援を担うことのできるベンチャーキャピタルに対する投資である。

本案件を通じて把握されたベンチャーキャピタルへの投資における課題等について、改めて検証し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

※グローバル・ブレイン 5 号投資事業有限責任組合、テックアクセル 1 号投資事業有限責任組合、UTEC3 号投資事業有限責任組合についてはファンド清算のため大臣意見はございません。

＜株式会社 INCJ について＞

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務としてきました。尚、2024 年 3 月末時点において累計投資額 1 兆 2963 億円に対して、累計回収額 2 兆 2490 億円と、回収額が投資額を上回っており、既に新規投資は終了していることから、INCJ 全体の収支はプラスとなります。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報
奥村（070-3960-3640）、三角（080-8098-0445）
東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア
URL : <https://www.j-ic.co.jp/jp/>
<https://www.incj.co.jp/>